



「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2018年5月12日(土) 9時00分～15時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコイング会員／6名(うち午後のみ1名)、魚住まち協／1名、事務局／1名 計／8名

● 午前

今日の金ヶ崎公園は、朝からさわやかな青空が広がり、新緑に囲まれて快適な活動日和になりました。その中で、朝9時に小学生1名を含めて7名のメンバーが公園の会議室に集まりました。

いつものようにミーティングをした後、公園内のコースを一巡りして昆虫を中心に自然観察をしました。日差しもあり、気温もだいぶ上がっていたのですが、観察できた昆虫は思ったほど多くはありませんでした。その中で、トンボやガ、カメムシ、ゾウムシなどのなかまを観察することができました。

● 午後

午後は、メンバーがひとり増えて、総勢8人で公園内の散策路で傷んだ階段の取り換え作業をしました。すっかり常連になった小学生も、階段の横木を固定する杭を打ったり、その杭を作るための木を切ったりして頑張ってくれました。

気温が高くなってきたこともあり、作業をしているとかなり汗ばんできました。また、「やぶ蚊」にも悩まされる季節になりました。

今日も、ケガなどの事故もなく、定刻の午後3時に無事に活動を終了しました。

- 次回の活動は6月2日(土)の予定です。昆虫も、たくさん観察できる時期になっていると思います。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

朝のミーティング



自然観察(その1)



自然観察(その2)



遊歩道補修作業(その1)



遊歩道補修作業(その2)



活動終了後の集合写真



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の自然観察で確認できた昆虫を紹介します。5月も中旬になり天気も良く気温も上がってきたため、たくさんの昆虫が観察できると期待したのですが、姿を見せた昆虫は意外に少なく、ちょっと残念でした。

その中で、これまで観察したことのないトンボのなかまのオナガサナエを確認しました。そのほかに、ガやカメムシ、コウチュウ、バッタなどのなかまがいくつかを観察し、撮影もできました。

チョウも、ナガサキアゲハやモンキアゲハ、アオスジアゲハ、キタキチョウなどが飛んでいましたが、残念ながら写真には撮れませんでした。

オナガサナエ



シオカラトンボ



クロハグルマエダシャ



ゴマフリドクガ



ヨコヅナサシガメ



アカサシガメ



クヌギカメムシ



オオモンキゴミムシダマシ



ヒゲコメツキ(♀)



ベニカミキリ



マツアナアキゾウムシ



クビキリギス



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

野鳥では、冬鳥がほとんど見られなくなりました。代わりに、夏鳥のキビタキやセンダイムシクイのさえずりが聞こえましたが、姿を確認することができませんでした。

今日は、いつも生き物の写真を撮っているメンバーが不参加だったため、あまり多くの野鳥の写真は紹介できません。撮影できたのは、大きな獲物をくわえたスズメ、若葉の中でエサを探しているメジロ、桜の木の枝でさえずるカワラヒワだけでした。

獲物をくわえたスズメ



若葉の中のメジロ



カワラヒワ



その他の生き物では、カエルのなかまをいくつか確認しました。最近では数が減っているといわれるトノサマガエルや、鮮やかな緑色や灰色に黒い斑点のあるアマガエルなどです。アマガエルは、なぜかメタボ気味の体が丸々したものが目立ちました。

トノサマガエル



緑色のアマガエル



灰色のアマガエル

